

秋をみつけたよ

●ねらい

- ・身近な秋の自然を感じる。
- ・保育者や友達、異年齢の友達と触れ合ったり、遊んだりすることを楽しむ。



対象児 1歳児 ばら組

作成日 令和2年10月17日

作成者 山川真紀



○振り返り



あったかいね

園庭やトリネコ広場で遊ぶなかで、落ちていた葉っぱを見つけ、手に採り「葉っぱみつけた!」という子どもに「葉っぱあったね」「きれいだね」「葉っぱ 赤くなってるね」と話しをしたり、落ち葉をクシャクシャにして「粉々になったね」「パリパリって音がしたね」と保育者が感じたことや子どもが保育者に伝えようとしている事を代弁しました。トネリコ広場で、裸足になって、芝生の感触を肌で味わいながら、みんなで寝転がって空や雲の様子を見たり、風の心地よさ、日が当たっているところと影を触ってみて「あったかいね」「気持ちいいね」と共感したり、日の当たっているところと一緒に触り、「こっちが日向っていうんよ」などと遊びや生活のなかで、季節の移り変わりを知らせています。小さな子ども達が理解するのは難しいと思われがちかもしれませんが、実際、触れて感じることや感じたことを共感しあったり、言葉にして伝えることが大切だと思い、小さな発見や子どものつぶやきも見逃さないようにして、子どもに返すように心掛けています。子ども達からも「さむいね」「あついね」「つめたいね」「風 吹きよるな」という声も聞かれるようになってきました。子どもたちのつぶやきや感じていることを受けとめていきながら、これからも保育していきたいと思えます。また、秋の自然に触れ、自然物を使ったあそびも取り入れて、子ども達と楽しんでいきたいと思えます。(健康な心と体・自然との関わり・生命尊重・言葉による伝え合い・豊かな感性と表現)